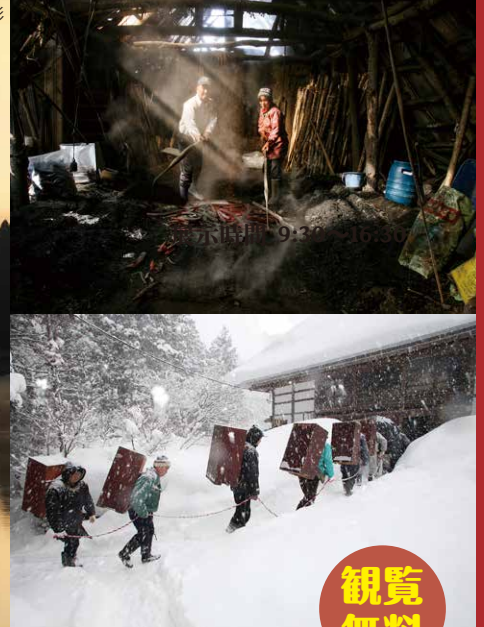


環境と人間のふれあい館主催イベント

写真 3 枚: 山口冬人氏撮影



2024

11 / 15

Fri.

~

11 / 30

Sat.

観覧時間

9:30-16:30 休館日: 毎週月曜日

観覧
無料

山口冬人 俳句 & 写真展

HAIKU & PHOTOGRAPH

あがのがわの息吹



11 / 16

Sat.

関連イベント 山口冬人さんギャラリートーク

時間 10:00-11:30 参加 無料 / 定員40名 (先着順)

会場 環境と人間のふれあい館 1階 研修室



参加方法

下記の間合せ先または右の二次元コードにより、11月14日(木)までにお申し込みください。(※いただいた個人情報は、本イベントの実施を目的とした用途以外に使用することはありません。)



俳人写真家

山口冬人 (やまぐち ふゆと) さん

旧津川町(現・阿賀町津川)生まれ。

[公社]日本写真家協会会員 / 新潟県美術

家連盟常務理事 / [一社]現代俳句協会評

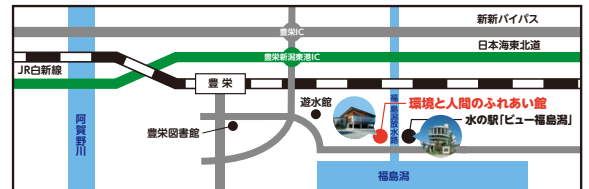
議員 / 新潟県俳句作家協会幹事 / 新潟県

現代俳句協会幹事 / 俳誌「暖響」同人



会場 新潟県立環境と人間のふれあい館
- 新潟水俣病資料館 -

住所 新潟市北区前新田字新々園乙 364-7
TEL 025-387-1450 / FAX 025-387-1451
メール fureai@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ URL <http://www.fureaikan.net/>



「阿賀野川え〜とこだプロジェクト」とは？

正式には「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(略称FM事業)と言い、阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」をつむぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクトです。

阿賀野川え〜とこだ! 憲章(事業理念)

私たちは新潟水俣病に学び教訓を伝承することで、負の遺産から新たな価値を創造していくことを目指します。阿賀野川流域の宝物を広く内外に発信しながら、公害により失われた人と人、人と自然、人と社会の絆をつむぎ直していきます。地域を愛する人が地域の未来をつくる「流域自治」の確立へ向けて行動します。(阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業推進委員会)

編集後記

第39号はいかがでしたでしょうか？

昨年度は、阿賀野川流域のSDGsをテーマに掲げて、現地の様々なスポットを巡ることで、阿賀野川上流域の水の豊かさ・大切さを実感しました。今年度は、阿賀野川中流域の風土が生かされた歴史や産業を巡り、中流域の大地や大河がもたらす豊かさを実感するイベントを開催しますので、ぜひお気軽にご参加ください!



今号表紙の写真「五泉の里芋畑」

阿賀野川中流域の左岸・五泉市の巢本地区では、大河が運んできた肥沃な土壌の大地で、ブランド野菜の里芋「帛(きぬ)乙女」が栽培されている。写真は、巢本地区の一本杉内に広がる里芋畑を撮影した一枚。

阿賀野川え〜とこだより 第39号

発行:新潟県(※環境省補助事業) 発行日:2024年9月30日
企画編集:一般社団法人あがのかわ環境学会(〒959-2221 阿賀野市保田 3866-1)

TEL.&FAX. 0250-68-5424
aganogawa@niigata.email.ne.jp

阿賀野川え〜とこだ!流域通信

<https://aganogawa.info/>

// え〜とこだよりのバックナンバーも見れます! //

